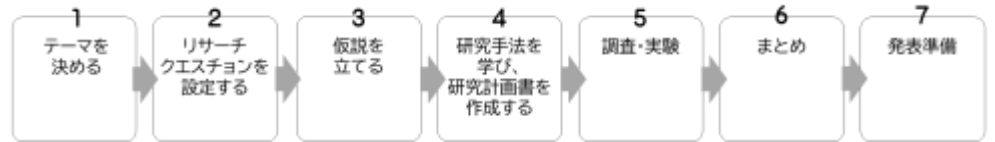


これからの針路学の流れ



1 研究テーマを決める

2 リサーチクエスチョンを設定する～研究で何を明らかにしたいのか～

- 1 **先行事例**を調べ、研究内容・研究手法・必要物品などを確認する。
- 2 学んだことをまとめ、自分の研究内容の**見通し**を立てる。
- 3 調べたことを鵜呑みにせず、疑問点や不足事項を探す。
疑問を掘り下げ、リサーチクエスチョンを導く。

◆リサーチクエスチョンのチェックリスト◆

- すぐに答えがでてしまわないか？
- 現状を調べるだけで終わってしまわないか？
- どのような理論を用いるのか、内容を自分たちで理解できているか？
- 見通しが立ち、実行可能か？
- 研究実施に必要な物品は何か？理解可能か？

3 仮説を立てる～答えの予想・見通し～

- 1 課題についてどういう解決をしたいのか思い描く。
- 2 解決のために何をして、どのように実践に移せばよいか明確にする。
仮説が立てられないのであれば、リサーチクエスチョンからやり直し！
- 3 仮説が立証されたかをどうやって判断するか考える。

◆仮説のチェックリスト◆

- 検証可能の仮説か？
- その仮説を調べる根拠・意味はあるか？
- 仮説が立証されたかをどうやって判断するか決まっているか？

4 研究手法を考え計画を立てる～答えを導き出すための手法～

- 1 文 献 調 査…本、論文、報告書、手紙、新聞、雑誌などの文書や記録を用いる。
- 2 アンケート調査…多数へ調査ができ、多くの結果が得やすい。(満足度、割合)
- 3 インタビュー調査…個人の会話より結果が得られる。(体験談、エピソード)
- 4 参 与 観 察…組織やグループに参加し、実際に体験する。(仕事、ボランティア)
- 5 実 験…実験装置や被験者などを確保しデータを得る

◆研究手法のチェックリスト◆

- 実行可能な研究手法か？
- 調査後の分析方法は示されているか？
- 研究に関するリスク管理は十分か？
- 研究手法では明らかにできない限界点を理解できているか？

5 調査・実験をする

1 研究をした証拠のために「研究ノート」を取る

◆研究ノートに記載すべきもの◆

- その日の目的
- その日、行ったこと
- 結果、データ
- 気づいた点・困った点
- 次に行うこと

6 調査結果をまとめる

1 結果をまとめる

◆まとめ方◆

- 結果の表や図から何を言いたいのか明確にする
- インタビュー：質問内容と発言を文字に起こす
- 参与観察：ビデオ、日誌、写真、メモ
- 実験・アンケート：方法と数量、写真、画像、データ

2 考察をする

◆考察の仕方◆

- 結果に含まれる事実をまとめる。
- 次の研究に繋がる問いを示す。
- リサーチクエスションの答えとなる結論を導く。

7 発表準備

◆研究内容をまとめる◆

- タイトルをつける。
- 研究背景はなにか
- 研究目的・意義を書く
- 研究手法は何か
- 結果・考察をいれる
- 最終的な結論と今後の展望
- 引用、参考文献

8 発表

- ・ テーマ内発表会を実施
- ・ 各テーマから代表1チームを選出し、総合学科発表会で発表
- ・ **発表のための研究ではなく、「研究の成果を発表する」という気持ちで臨んでください。**